・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

・欠損部改修工法　・充填工法　[4.1.4][4.3.9～10]

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数(-)
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数(-)
・現場調合材料			
・既調合材料			

・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する　形状　・図示による　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・		
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・		
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・		
・充填工法	—	—	—	—	—		
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

4-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

・タイルの形状、寸法等　タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 脱ぐう	無ぐう	有	役物 無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う(施工箇所：　　)　・行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による)　・行わない

・ひび割れ部改修工法　・樹脂注入工法　[4.1.4][4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
・図示による　・

・欠損部改修工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　延べ箇所数（　　）箇所
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　延べ箇所数（　　）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)(ウ)(エ)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15]

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・		
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・		
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	※25 ・		
・タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—		
・タイル張り替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　延べ箇所数（　　）箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　延べ箇所数（　　）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)(ウ)(エ)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・目地改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による　・
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

⊙既存塗膜等の除去　下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	⊙ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ⊙欠損部改修工法
⊙高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

⊙下地調整塗材　[4.5.2]
※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル

⊙仕上塗材仕上げ　新規仕上塗材の種類　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・可とう形外装塗材S	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
○外装薄塗材E	⊙砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・
	・凹凸状	・吹付け	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ⊙複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	⊙ゆず肌状	⊙ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り			
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・外壁用塗膜防水材塗り　仕上げの形状　[4.1.5][4.7.2,3][表4.7.1]
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

⊙改修工法　[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具		○	○	⊙建具表による
・樹脂製建具		—	○	⊙建具表による
⊙鋼製建具	⊙外部		○	⊙建具表による
	⊙内部		○	⊙建具表による
⊙鋼製軽量建具			○	⊙建具表による
・ステンレス製建具				・建具表による
⊙木製建具			○	⊙建具表による

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・防火戸　・指定する　適用箇所（・建具表による　・　　）　[5.1.4]
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具表による　・　　）
・連動させない

・見本の製作等　建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　[5.1.5]
・行わない
建具見本製作の目的等：（　　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
・行わない

・防犯建物部品　・適用する（・建具表による　・　　）　[5.1.7]
・適用しない

承認	審査	検図	製図	特記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号 25037

工事名称 大船渡中学校統合改修（建築・機械設備）工事

図面内容 建築改修工事特記仕様書３

縮尺 A-1 1:100 A-3 1:200

図面区分 建築意匠

図面番号 A-1003